

(6) 特徴があって、わかり易い鉱物を調べてみよう。

① 斜チョウ石

柱状の鉱物で、しまもようをしている、プレパラートを動かすと、模様様が、次つぎと変わるものや、周囲から中央に変わるものなどがある。

② 造岩鉱物のへき開(われ目)の性質から鉱物を判定してみよう。

・ウンモ

一定方向にのみ、はっきりわかるへき開がある。

・カクセン石

二つの方向に、へき開があり、交る角度のうち鈍角のもののは大きさは、 124° で菱形に見える。

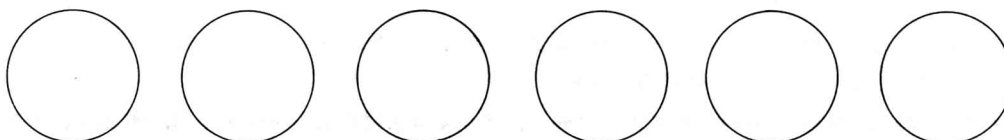
・キ石

二つの方向のへき開の交わる角は 88° である、したがって、その形は正方形の凶案のようである。



4 結果と考察

(1) 観察の結果をケント紙か、画用紙を使用してスケッチしてみよう。



(2) 岩石によってこのような組み合わせや、粒の大きがちがってくる理由を考えてみよう。

(3) 冷え方がおそいか速いかによって、結晶の大きがきまる。その理由を考えてみよう。

(4) 地下の深い所と、地表で冷えるのとで結晶の大きがちがう、その理由を考えてみよう。

5 留意点

(1) 鉱物顕微鏡や、偏光装置付拡大鏡が無い時でも、鉱物の多色性、へき開、形などは、生物顕微鏡を使っても観察することができる。

(2) また、教師用の生物顕微鏡に、顕微鏡偏光装置を付加すれば、高級な鉱物顕微鏡と同じに使用できる。

6 その他

造岩鉱物の実験には、この外、ロームから重鉱物を分離する方法・カコウ岩の風化物から鉱物を選びだす方法・会津シラスや、軟質の砂岩から鉱物を取りだす方法などがある。